

令和5年度北海道青少年顕彰者活動内容等

No	(総合)振興局	氏名	年齢 (団体活動歴)	住所	職業・業種など	主な活動内容
1	胆振	渡邊 大暉	27	室蘭市	会社員	平成26年から職場で鋼片の物流管制からクレーン運転、鋼片出荷と幅広い業務に従事している。高い技術と技能で線材工場の安定生産や設備異常の察知及びトラブル防止に貢献し、教育指導にも寄与している。職場の環境改善も進んでいき、QCサークルの北海道大会での金賞受賞、全国大会への出場もしており、その姿勢が職場の活性化に繋がっている。また、職務のかたわら、野球同好会に所属し、地域住民とも積極的に交流している。
2	胆振	藤原 隼斗	26	室蘭市	会社員	平成27年から職場の電気整備業務に従事している。焼鈍炉(ガス燃料装置)・クレーン設備(高所設備)・薬剤設備などに関わる危険と隣り合わせの業務である中、創意工夫をもって設備故障防止のための改良保全を推進し、職場の若手人材への災害防止活動の推進により安全に対する意思統一を図るなど、職場の安定稼働に貢献している。また、野球同好会に所属し、社員の輪を広げるとともに、地域住民とも積極的に交流している。
3	胆振	菊池 七海	25	苫小牧市	会社員	平成28年から職場の物流業務に従事している。何事にも挑戦する姿勢で早期に様々な業務を習得し、職場のパイプ役として活躍するほか、QCサークル活動で従来女性の従事が困難であった作業の改善提案をし女性の活躍の場を増加させたり、女性新入社員の相談員として不安解消に努めるなど、D&Iの先駆者として更なる活躍が期待される。また、市内の行事やボランティア活動にも積極的に参加するなど、地域づくりにも貢献している。
4	胆振	太田 英和	27	登別市	会社員	平成26年から職場で電気保全業務に従事している。業務に関わる多種の資格・免許を積極的に取得し、高度な知識と技術を持ち謹厳実直に仕事に取り組む姿勢は他の社員の模範となっている。業界の採用難が深刻化する中、持続可能な保全活動のため、自身の経験などをもとに若手人材の指導・育成に尽力しており、組織機能の強化とともに、地場産業に貢献している。
5	胆振	野田 速示	26	登別市	会社員	平成27年から職場の土木施工業務に従事している。早期に施工管理に係る資格を取得するなど、自己研鑽に励んでおり、担当している治山防災事業においては、品質、環境、労働安全に係るマネジメントシステムを活用し、最新のリスクアセスメントの構築、普及の中心的な役割を担うほか、地域住民との積極的なコミュニケーションを図るなどして、円滑な施工に貢献している。また、職場の地域貢献活動にも積極的に参加している。
6	日高	船越 聖也	23	日高町	漁業	平成29年から漁業に従事している。仕事のかたわら、漁業協同組合青年部の活動にも参加し、子どもたちへの漁船の乗船体験や地引き網体験などの実施に協力することで、漁業の魅力発信に貢献している。また、温厚でひたむきな姿勢は関係者からの信頼が厚く、地域の消防団や町内会活動などにも積極的に参加・協力するなど、地域づくりにも貢献している。
7	石狩	北海道高校生ネットワーク BLOSSOM	3	札幌市	高校生	令和元年、市内の高校生が「高校生から防災ムーブメントを起こす」を理念に結成。「Take Action」を合言葉に、土のう袋などの緊急物資支援や被災地復旧活動を実施。また、被災地に出向いて交流・学習活動を行い、そこで得た知見をもとにして防災イベントも実施している。VRを用いた展示や、東日本大震災の被災者による講演を交えたイベントで、防災意識の啓発に取り組み、地域社会に貢献している。現在12名で活動中。

※年齢は令和5年4月1日時点の満年齢を、団体の活動歴は令和5年4月1日時点での経過年を記載している。